

(様式1・小学校用①)

# 令和7年度 学校評価報告

草加市立西町小学校

(令和8年1月29日作成)

<b>1 学校教育目標</b> ○よく考え 工夫する子(知) ○心豊かで 思いやりのある子(徳) ○たくましく ねばり強い子(体) ＜キャッチフレーズ＞ 「感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町」	
<b>2 重点目標・努力目標</b> 小中を一貫した教育 ○自己肯定感・自己有用感・他者理解の力の育成 ○「新しい時代に必要となる資質や能力」を育成 ○確かな学力の定着 ○豊かな心の育成 ○健康な体力づくりと体力向上 ○生活に活かす教育活動の推進	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ○全教職員の共通理解のもと、学校経営方針に基づいた教育活動が実践された。生徒指導・教育相談を中心に組織的に対応し、問題行動等の未然防止および早期解決につなげることができた。各教科、道徳教育や特別活動、情報教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感の向上につなげることができた。「ふるさと草加」に根差した教育活動の年間指導計画の作成及び実施に取組み、児童の愛着の心を育みつつある。 課題 ●物事にねばり強く取り組む児童の育成及び読書活動に課題があり、一層の充実を図る必要がある。

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○校務分掌組織を活かした計画立案や課題解決が図られ、組織的な学校運営ができた。 ●ねばり強い子の育成に保護者及び教職員が課題意識をもち取組を進め、改善の方向に進んでいる。次年度もさらなる改善が必要である。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○研修教科を算数科とし、授業改善に向けた研究、A I ドリルやI C Tの多様な活用も進めることができた。 ●勤務時間の削減と研修の取組の両立を今後どのように進めるかが課題である。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	B	○教職員の連携が的確に行われており、けが・体調不良が生じた際の速やかで丁寧な保護者への連絡が実践することができた。 ●危機管理マニュアルの教職員への周知徹底を図っていく必要がある。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○新校務支援P C が導入されたことで、セキュリティーの強化や管理マニュアル等の修正を進めることができた。 ●施設設備の要対応箇所について、今後も関係機関の協力を得つつ適切な対応を進める。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○ホームページや各種便り、学校公開等で積極的に教育活動を公開し、家庭・地域の理解を得ることができた。 ●学校応援団の活用手段やP T Aとの連携について、教職員との情報共有が必要である。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○昨年度の研究発表を土台に中学校区3校全体で一貫教育推進のための組織的・計画的な運営が図られた。 ●自己有用感・自己効力感・他者理解を児童一人ひとりに浸透するための更なる授業改善が必要である。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.5年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間指導計画に基づいて、適切に教育活動を展開することができた。</li> <li>●たてわり活動や朝会活動について、より充実した教育活動とするためのさらなる改善が必要である。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「主体的対話的で深い学び」「思考力判断力表現力」の育成を目指した授業改善を進めることができた。</li> <li>●次年度も、少人数指導、教科担任制の充実に向けた人員の確保が望まれる。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「考え議論する道徳」の授業実践を展開することができた。</li> <li>●家庭との連携やノートを活用等、今後改善する必要がある。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>各教科、道徳教育との関連</li> <li>中学校との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度は、専科授業が通年で実施ができ、ALTとの連携を深めた充実した外国語授業を展開することができた。</li> <li>●次年度も外国語専科の配置に向けた人員の確保が望まれる。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○代表委員を中心に集会活動が充実し、児童一人ひとりが活躍する場面が設定され、自己肯定感・自己有用感を育てることができた。</li> <li>●年間を通じた学級活動の充実に向けた授業改善を図る必要がある。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ふるさと草加」の学習を推進し、年間指導計画に適切に位置づけ、草加の地場産業体験学習や現場見学学習を進めた。</li> <li>●地域人材の確保や情報共有を図る必要がある。</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、児童理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導・教育相談を中心に組織的に対応し、問題行動等の未然防止に取組むことができた。</li> <li>●児童一人ひとりがあいさつを率先して行えるような取り組みを行う必要がある。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>中学校との連携</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動の全般を通して、充実したキャリア教育が実践された。</li> <li>●各教科等におけるキャリア教育の視点を意識した指導の一層の充実を図る。</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援コーディネーターを中心に組織的に対応し、保護者との共通理解のもと特別支援教育の充実が図られた。</li> <li>●配慮を要する児童について、校内の情報共有及び組織的な支援を今後も継続する。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書活動の推進を図りし、児童が本に親しむ機会を意図的に設けることができた。</li> <li>●家庭と連携や図書館の積極的な活用について、より効果的な取組を進める必要がある。</li> </ul>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報主任を中心に組織的に授業改善を図り、充実した情報教育を推進することができた。</li> <li>●今後、教育活動全般において、情報モラル教育の一層の推進を図る必要がある。</li> </ul>
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権覚育成プログラム研修を適切に実施し、教職員のスキル向上を図ることができた。</li> <li>●人権感覚育成プログラムの年間指導計画への位置づけを図る必要がある。</li> </ul>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	1 幼保小中を一貫した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準カリキュラムを活用した15年間の学びの充実</li> <li>草加中学校区の15歳の姿を見据えた教育活動の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の研究発表を土台に中学校区3校全体で一貫教育推進のための組織的・計画的な運営が図られた。</li> <li>●次年度も3校で緊密な連携を図り、より効果的に取り組める体制と充実した計画の実施を図る。</li> </ul>
	2 自己肯定感・自己有用感・他者理解の力を育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりを大切にされた教育活動の推進</li> <li>互いに理解し、認め合い、高め合うことのできる児童の育成</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修において研究テーマとして取り組み、授業改善に向けて成果があった。</li> <li>●自己有用感・自己効力感・他者理解の力を育成するため、今後も校内研修をとおして更なる授業改善を図る必要がある。</li> </ul>
	3 「新しい時代に必要とされる資質や能力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善</li> <li>読書活動の推進</li> <li>ICT機器の積極的・効果的な活用</li> <li>情報モラル教育の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学力・学習状況調査において自校の平均正答率が、県及び市を上回ることができた。</li> <li>○本の貸出冊数を昨年度より大きく改善することができた。</li> <li>○ICT機器の積極的な活用を進めることができた。</li> <li>●情報モラル教育の充実に向けた取組を図る必要がある。</li> </ul>

**5 総合評価 (学校関係者評価を含む)**

- 全教職員の共通理解のもと、学校経営方針に基づいた教育活動が実践された。
- 生徒指導・教育相談を中心に組織的に対応し、問題行動等の未然防止および早期解決につながる事ができた。今後も、丁寧な教育相談等の継続、日々の授業の充実により、積極的な生徒指導を行っていく。
- 総合的な学習の時間を中心に、「ふるさと草加」に根差した教育活動の年間指導計画の作成及び実施に取組み、児童にふるさとへの愛着の心を育みつつある。

**6 次年度の改善策**

- 学力の向上
  - ・「自己有用感・自己肯定感・自己有用感・他者理解の力」を意識した授業改善を図る。
  - ・物事にねばり強く取り組む児童の育成に重点的に取り組む。
- 教育活動の精選と働く方改革の両立の推進
  - ・本年度大きく改善を図り、教育活動の精選と教職員の勤務時間削減の両立を図ることができた。今後も改善できる様々な検討を図り、児童の充実した教育環境を整えつつ、教職員の働きやすい職場環境を整備していく。
- 学校安全
  - ・危機管理マニュアルの周知及び不審者等への対応についての取組を充実する。